

July 25th, 2023

ロンドン取引所グループ（“LSEG”）は金融庁が公表した ESG 評価・データ提供機関に係る行動規範に賛同します

ロンドン証券取引所グループ(LSEG)は、金融庁が 2022 年 12 月に発表した「[ESG 評価・データ提供機関に係る行動規範](#)」(以下、行動規範という)の 2 月の承認¹²に加えて、LSEG の活動および製品に適用される、同規範で示された原則 1~6 にどのように準拠しているかを概説します。

LSEG の事業会社 (リフィニティブと FTSE Russell) は、公開されているデータのみを使用し、TCFD³ や GRI⁴ などグローバルな ESG 報告基準に沿った透明性のあるモデルのもと、10,000 社以上の ESG 評価を公表しています。ESG の分野やデータについては、品質・信頼性・透明性の向上に向けたグローバルな取り組みを支援しています。リフィニティブと FTSE Russell の ESG スコアリングと方法論（メソドロジー）の指針は、主要な業界基準と国際基準に沿った、普遍的な原則です。

ESG 評価・データ提供機関に係る行動規範に対する LSEG⁵の対応:

I. 原則 1 (品質の確保)

ESG 評価・データ提供機関は、提供する ESG 評価・データの品質確保を図るべきであり、このために必要な基本的手続き等を定めるべきである。

リフィニティブと FTSE Russell は、高水準のデータ整合性を確保するために、データ収集を担当するチーム全体に適用されるポリシーと手順、および関連するトレーニング資材を策定・浸透させています。リフィニティブと FTSE Russell の ESG データ製品は、公開されている情報に基づいています。

リフィニティブと FTSE Russell は、スコアリングへのインプットにおいて高品質かつ高い信頼性を確保するために、スコアリング方法論（メソドロジー）において、実際に報告されたデータのみを使用しています（推定値は使用しません）。リフィニティブと FTSE Russell の ESG スコアの方法論（メソドロジー）は、以下の Web サイトで公開され、既存のガバナンス・プロセスを通じて定期的に見直されています。

- リフィニティブ: [“リフィニティブの ESG（環境・社会・ガバナンス）スコア”](#)
- FTSE Russell: [“Guide to FTSE and Third Party Sustainable Investment Data used in FTSE Russell Indices”](#)

¹ 規制 | FTSE Russell

² [ESG 評価・データ提供機関に係る行動規範（金融庁）](#) | リフィニティブ

³ TCFD: 気候関連財務情報開示タスクフォース

⁴ GRI: Global Reporting Initiative

⁵ 本書で使用されている LSEG への言及は、ESG スコアを公表しているリフィニティブおよび FTSE Russell の事業に関連しています。

方法論（メソドロジー）は、社内の確立された管理手順に基づいて統制され、適用されます。FTSE Russell の ESG 品質管理手順の概要については以下のリンクの 26 ページをご覧ください。

[Guide to FTSE and Third Party Sustainable Investment Data used in FTSE Russell Indices.pdf](https://www.ftserussell.com/Guide%20to%20FTSE%20and%20Third%20Party%20Sustainable%20Investment%20Data%20used%20in%20FTSE%20Russell%20Indices.pdf)(ftserussell.com)

リフィニティブの現行管理手順については以下のリンクの 4 ページをご参照ください。

[リフィニティブの ESG（環境・社会・ガバナンス）スコア](#)

リフィニティブまたは FTSE Russell が ESG インプットデータの収集を第三者に委託する場合、その関係は契約によって管理され、確立されたリサーチ・品質保証プロセスに従ってデータの収受が行われます。

II. 原則 2 (人材の育成)

ESG 評価・データ機関は、自らが提供する評価・データ提供サービスの品質を確保するために必要な専門人材を確保し、また、自社において、専門的能力の育成等を図るべきである。

LSEG は、アジアとヨーロッパにまたがるスキルセンターに 630 名以上のデータ収集および品質管理の専門家を雇用しており、その中には 30 名以上の ESG スコアの専門家や日本語に堪能なデータ収集のスペシャリストが含まれています。LSEG は優秀な人材を発掘・採用するために、効果的な採用・入社プロセスを行っています。職務における専門的な能力開発と高いパフォーマンス水準を育成するため、社員は LSEG の人事フレームワークに沿って、継続的な専門的トレーニングと評価を受けています。ESG データスペシャリストの社内資格に加え、業界で認知された外部資格の取得もサポートしています。

LSEG の ESG スペシャリストは、各分野の専門家による綿密な監督と指導の下で、広範な座学と実地研修を受けます。ESG スペシャリストの仕事の質とそのパフォーマンスは、LSEG の人事フレームワークに沿って、継続的にマネジメントからのフィードバックを受け、定期的に評価されています。LSEG のデータ収集チームは、LSEG の高品質なデータを培い、LSEG の、ルールに基づいた方法論（メソドロジー）を確実に実行するため、確立された評価システムを活用しています。

III. 原則 3 (独立性の確保・利益相反の管理)

ESG 評価・データ提供機関は、独立して意思決定を行い、自らの組織・オーナーシップ、事業、投資や資金調達、その他役職員の報酬等から生じ得る利益相反に適切に対処できるよう、実効的な方針を定めるべきである。

利益相反については、自ら、業務の独立性・客観性・中立性を損なう可能性のある業務・場面を特定し、潜在的な利益相反を回避し、又はリスクを適切に管理・低減するべきである。

リフィニティブと FTSE Russell は、ESG データの「発行体負担」タイプのサービスを提供していないことで、ESG データやスコアに関連する利益相反のリスクを軽減しています。ESG スコアおよびデータ収集のスペシャリストは営業部門から独立して運営されており、顧客が支払う料金に基づいてインセンティブを受けることはありません。

また、リフィニティブと FTSE Russell の ESG スコアリング方法論（メソドロジー）も、透明性のある設計と公的情報源の採用を通じて、潜在的な利益相反のリスクを低減しています：

1. ESG スコアの決定に使用されるデータは、公開情報に基づいています。このデータは監査可能であり、情報源を追跡することが可能です。
2. 企業評価はアンケート調査によって作成されることはありません。また、
3. スコアリング方法論（メソドロジー）は ルールに基づいたものであり、人為的な介入の必要性を制限し、顧客、見込み顧客、および評価対象となる企業に公開されています。

利益相反のリスクを軽減し、グループ全体で適切な管理策を確立するため、LSEG はグループ利益相反ポリシーを制定し、利益相反の特定、報告、管理に関する主な要件を定めています。さらに、リフィニティブと FTSE Russell は、利益相反登録簿を作成し、利益相反の可能性と実際の事例、および関連する緩和策を記録しています。特定された利益相反と緩和策は、関連するガバナンス・フォーラムを通じて定期的に見直されます。

LSEG の全スタッフは、[LSEG Code of Conduct](#) および個人口座取引に関するグループ・ポリシーの適用を受けます。個人的な相反利益については、専用のセントラル・コンプライアンス・システムを通じて開示する必要があります、コンプライアンス部門によってレビューされます。

IV. 原則 4 (透明性の確保)

ESG 評価・データ提供機関は、透明性の確保を本質的かつ優先的な課題と認識して、評価等の目的・基本的方法論等、サービス提供に当たっての基本的考え方を一般に明らかにするべきである。

また、提供するサービスの策定方法・プロセス等について、十分な開示を行うべきである。

透明性は、リフィニティブと FTSE Russell の ESG データの収集、検証、スコアリング方法論（メソドロジー）の中心であり、以下のそれぞれのウェブサイトにて入手できます。

- リフィニティブ：[“リフィニティブの ESG（環境・社会・ガバナンス）スコア”](#)
- FTSE Russell：[“Guide to FTSE and Third Party Sustainable Investment Data used in FTSE Russell Indices”](#)

公開されている方法論（メソドロジー）に加えて、企業と ESG スコアのユーザーは、製品固有の開示を参照して詳細を確認できます。例えば、調査対象企業向け情報 [“よくある質問 \(FAQ\) - FTSE Russell ESG スコア”](#) の 4 ページでは、FTSE Blossom Japan インデックス・シリーズで使用する ESG スコアに関連した FTSE Russell による評価サイクル・プロセスが記載されています。また評価企業は、特定の経済活動に使用される、詳細な方法論ガイドと ESG データ領域を要求することも可能です。

最後に、FTSE Russell およびリフィニティブ ESG データに推計が適用される場合、その推計手法は公開されます。例えば、リフィニティブの [ESG Carbon Data And Estimate Model](#) や [FTSE Russell の Green Revenues 2.0 Data Model](#) を参照してください。

既存の方法論（メソドロジー）の変更は、現行のガバナンス・プロセスを通じて検討され、必要に応じて公開コンサルテーションが実施され、既存のユーザーおよび潜在的なユーザーへ既定のプロセスに従って通知されます。

評価対象企業から寄せられた問い合わせは、確立された社内プロセスを通じてレビューし、可能な限り迅速に対応します。

V. 原則 5 (守秘義務)

ESG 評価・データ提供機関は、業務に際して非公開情報を取得する場合には、これを適切に保護するための方針・手続きを定めるべきである。

LSEG は、データガバナンスと管理に関する原則と基準を定めた「グループデータポリシー」と、機密情報を取り扱うための主要な要件を定めた「グループ機密情報ポリシー」を定めています。ポリシー違反は、内部プロセスと手順に従って報告および調査されます。さらに、データ収集のスペシャリストは、データの調達と取り扱いについて適切なトレーニングを受けており、ESG スコアリングに使用されるデータは、年次報告書、企業の社会的責任レポート、証券取引所からのデータなど、公開されているソースからのみ取得されます。

VI. 原則 6 (企業 とのコミュニケーション)

ESG 評価・データ提供機関は、企業からの情報収集が評価機関・企業双方にとって効率的となり、また必要な情報が十分に得られるよう、工夫・改善すべきである。

評価等の対象企業から開示される評価等の情報源に重要又は合理的な問題提起があった場合には、ESG 評価・データ提供機関は、これに適切に対処すべきである。

リフィニティブと FTSE Russell は、公開されてないデータは受け入れません。また調査・サーベイを通じた情報収集は行いません。

リフィニティブは、評価対象企業に [ESG Contributor Tool](#) の無料アクセスを提供し、データ履歴を検証および編集したり、新しい ESG データを提供したりすることができます。評価対象企業は公開されている情報源を参照してすべてのデータを実証する必要があり、編集または新しく提供されたデータは、確立された管理プロセスを通じてレビューされます。リフィニティブには専任のカスタマーサポートチームがあり、クライアントは ESG データ関連の問い合わせや課題を提起することができます。

FTSE Russell の評価対象企業とのエンゲージメントのプロセスは、調査対象企業向け情報 [“サステナブル投資における企業エンゲージメント”](#) に記載されています。不正確性を指摘されたデータや、持続可能性データに寄せられた課題に対処するためのプロセスは、[Sustainable Investment Data Recalculation Policy and Guidelines](#) に記載されています。

LSEG について

LSEG (ロンドン証券取引所グループ) は、世界をリードする金融市場インフラおよびデータプロバイダーであり、グローバル金融システムにおいて社会的・経済的に重要な役割を担っています。オープンなアプローチで信頼性の高い専門知識をベースにグローバル展開することで、お客様とそのコミュニティの持続的な成長と安定を実現しています。当社は、データとアナリティクス、資本調達とトレーディングの執行、クリアリングとリスクマネジメントの分野で業界のリーダーとして事業を展開しています。

LSEG では資本市場が、社会が世界的に直面する持続可能性の課題を解決するための鍵であると考えており、サステナブルな成長の戦略的な支援者となることを約束します。企業体として、LSEG は科学的根拠に基づい

た排出削減目標を設定しており、2040 年までにネットゼロを達成することを目指しています。私たちは自身の気候移行計画において、これをどのように実現するかを示しています。資本市場の中心での役割から、持続可能性の目標を達成するためのツール、データ、資本へのアクセスを業界に提供します。

免責条項

本書に含まれている著作権は London Stock Exchange Group plc およびそのグループ事業（以下「LSE グループ」）に帰属します。LSE グループには Refinitiv Limited、および直接又は間接に、Refinitiv Limited が支配する企業、Refinitiv Limited によって支配される企業、あるいは Refinitiv Limited と共通の支配下にある企業（「Refinitiv グループ」）が含まれます。この場合、“支配”は、議決権ある証券の所有、契約その他の手段を通じて、ある企業が他社の経営や方針について指揮監督をする権限（あるいは指揮監督をさせる権限）を有している場合に認められ、“支配する”と“支配される”も同様に解釈されます。本書の無断転載を禁じます。

Refinitiv® 並びに本書で使用されているすべての商標およびサービスマーク（登録済みまたは未登録であるかを問わない）は、LSE グループのメンバーが所有またはライセンスを許諾されているものであり、Refinitiv グループは、これらを所有または許諾されたライセンスに基づき使用しています。

本書に含まれるすべての情報は情報提供を目的としています。本書に記載されているすべての情報およびデータは、LSE グループが正確で信頼できると考えている情報源から入手したものです。ただし、これらの情報およびデータには、人為的、機械的、その他の要因による誤りなどが含まれる可能性があるため、いかなる保証も伴わず「現状のまま」で提供されます。LSE グループのメンバー、およびそれらの取締役、役員、従業員、パートナー、ライセンサーは、情報の正確性、適時性、完全性、商品性、Refinitiv 製品（インデックス、レート、データアナリティクスを含むが、これらに限定されない）の使用から得られる結果、または Refinitiv 製品が利用される可能性のある特定の目的に対する Refinitiv 製品の適合性について、明示または黙示を問わず、いかなる主張、予測、保証または表明も行いません。情報の利用者は、情報を利用すること、または利用を許可することに関するすべてのリスクを負うものとします。

いかなる LSE グループのメンバーまたはそれらの取締役、役員、従業員、パートナーもしくはライセンサーも、以下の事項について一切責任を負いません。（a）情報もしくはデータの調達、収集、コンパイル、解釈、分析、編集、転写、送信、通信もしくは配信、または本書もしくは本書へのリンクの使用に関連する誤り（過失の有無にかかわらず）またはその他の状況に起因もしくは関連する全部又は一部の損失や損害、または（b）情報の使用または使用不能に起因するいかなる直接的、間接的、特別的、派生的もしくは付随的損害（当該損害の可能性について LSE グループのメンバーが事前に通知されていた場合を含む）。

いかなる LSE グループのメンバーや、それらの取締役、役員、従業員、パートナー、ライセンサーも、投資に関する助言を提供しておらず、本書のいかなる内容も、財務上または投資に関する助言を構成するものとはみなされません。また、LSE グループのメンバーや、それらの取締役、役員、従業員、パートナー、ライセンサーのいずれも、いかなる資産への投資の是非、またはその投資が投資家にとって法的またはコンプライアンス上のリスクをもたらすかどうかについて、いかなる表明も行いません。そのような資産に投資する

という意思決定は、本書のいかなる情報にも依拠して行うべきではありません。インデックスおよびレートに直接投資することはできません。インデックスまたはレートへの資産の組み入れは、当該資産の売買・保有を推奨するものではなく、また、特定の投資家が当該資産または当該資産を含むインデックスまたはレートを合法的に売買・保有できることを確認するものでもありません。免許や認可を保有している専門家から特定の法律、税務、および投資アドバイスを得ることなく、本書に記載されている一般的な情報に基づいて行動に移すべきではありません。

過去のパフォーマンスは、将来の結果を保証するものではありません。チャートおよびグラフは、説明のみを目的として提供されています。表示されているインデックスまたはレートリターンは、実際の投資対象資産の取引結果を表すものではありません。表示された特定のリターンは、バックテストされたパフォーマンスを反映している可能性があります。インデックスまたはレート開始日より前に提示されたすべてのパフォーマンスは、バックテストされたパフォーマンスです。バックテストされたパフォーマンスは実際のパフォーマンスではなく、仮想的なものです。バックテストの計算は、インデックスまたはレートの正式開始時と同じ手法に基づいています。しかし、バックテストされたデータは、事後に得たインデックスまたはレート手法を反映している可能性があり、また、インデックスまたはレートの計算に用いられた基礎的な経済データの修正に基づいて、インデックスまたはレートのヒストリカルな計算結果が月ごとに変化する可能性があります。

本書には、将来予測に関する評価が含まれている場合があります。これらは、最終的には不正確であることが判明することがある、将来の状況に関する多くの仮定に基づいています。このような将来予測に関する評価にはリスクと不確実性が伴い、様々な要因の影響を受けて実際の結果が大きく異なる可能性があります。LSE グループのいかなるメンバーおよびそのライセンサーも、将来見通しに関する評価を更新する義務を負うものではなく、また更新することを約束するものでもありません。

LSE グループメンバーの事前の書面による承諾なしに、本情報のいかなる部分も、電子的、機械的、複写、記録その他いかなる形式または手段によっても、複製、検索システムへの保存、または送信することはできません。LSE グループのデータの使用および配布には Refinitiv グループおよび/またはそれぞれのライセンサーからのライセンスが必要です。